

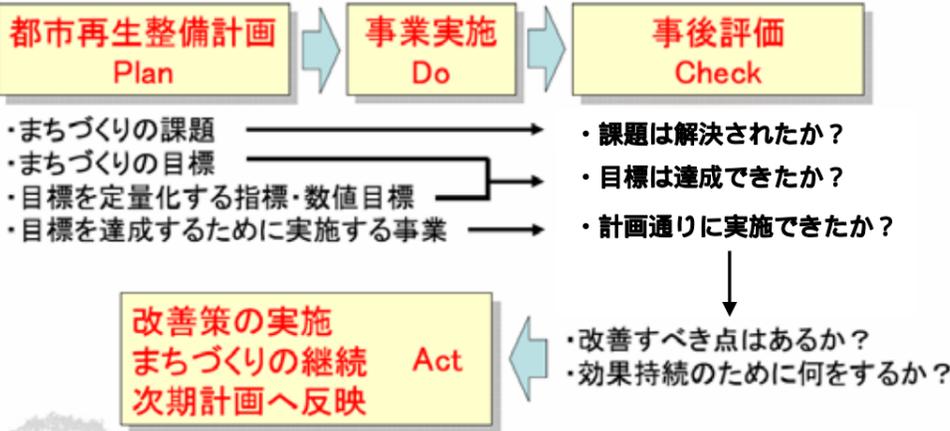
都市再生整備計画 三国駅周辺地区

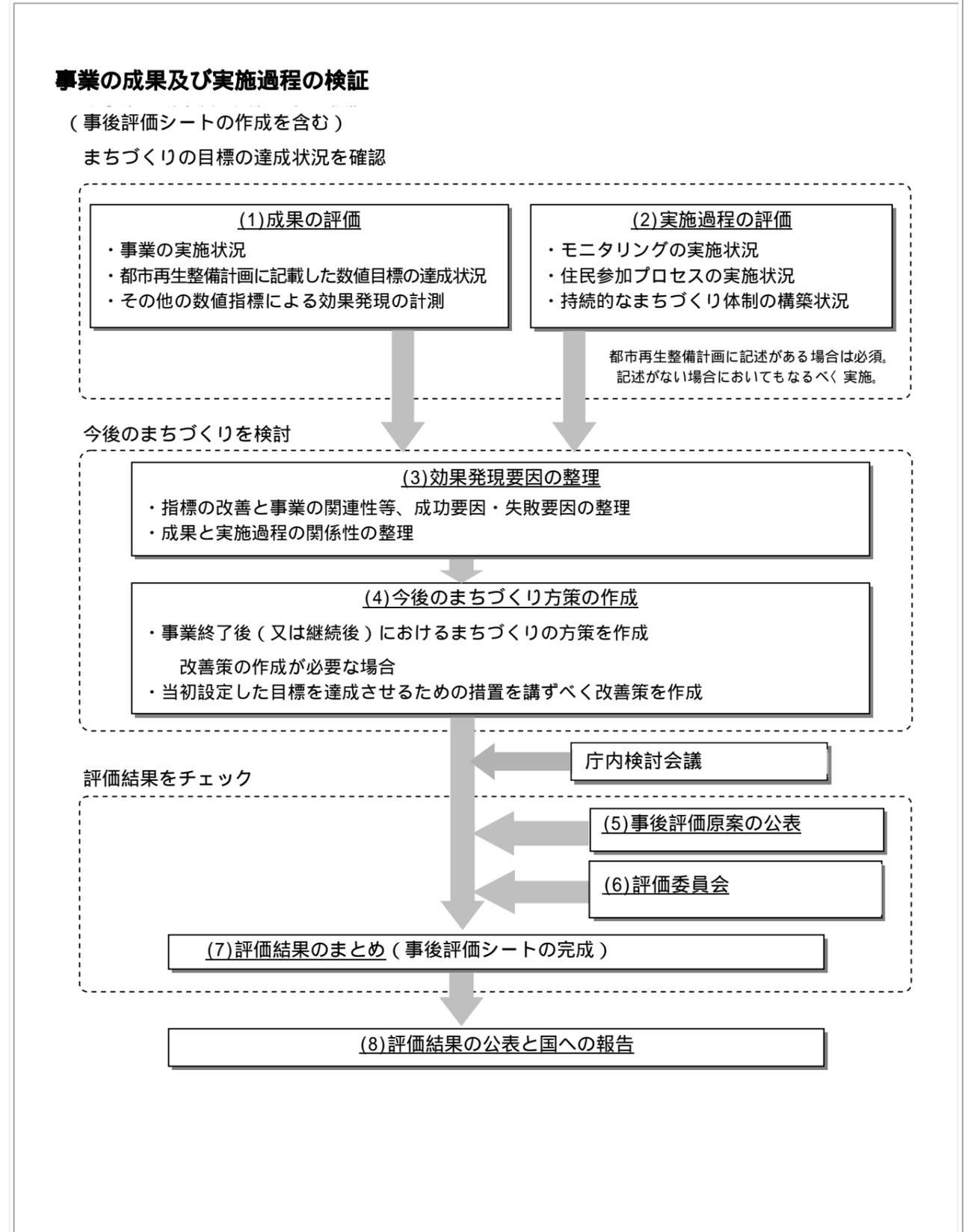
事後評価の概要

1 . 事後評価制度の概要	P 1
2 . まちづくりの経緯（都市再生整備計画の概要）	P 2
3 . 成果の評価（数値目標の達成状況の整理）	P 4
4 . 効果発現要因の整理	P 8
5 . 今後のまちづくり方策の検討	P 9

令和4年3月
坂井市 都市計画課

1. 事後評価制度の概要

<p>事後評価の位置づけ</p>	<p>事後評価はP D C Aサイクルによる事業評価制度の一環として実施されるもので、その後のまちづくりに活かすための作業である。</p>  <p>◆まちづくりの効果を事業後も持続させる！ ◆成功体験、失敗経験を次のまちづくりの教訓に！</p>
<p>事後評価の目的</p>	<p>事業がもたらした成果等を客観的に分析して、今後のまちづくりを適正な方向に導くこと、及び事業の成果を住民にわかりやすく説明することを目的とする。</p>
<p>事後評価の内容</p>	<p>まちづくりの目標の達成状況等の確認！ まちづくりの目標の達成状況、および実施過程の検証を行う。</p> <p>今後のまちづくり方策の検討！ まちづくりの目標の達成状況を踏まえ、事業効果の発現要因を整理し、今後のまちづくり方策を検討する。</p> <p>事後評価のチェック！ 事後評価の透明性・合理性・客観性を担保するために、評価結果を市民に公表し、意見を適切に反映すると共に、第三者で構成される「評価委員会」を開催し、その審議を経る。</p>
<p>評価委員会の目的</p>	<p>事後評価等が適切に遂行されているかを確認し、意見を頂く。 今後のまちづくり方策等について意見を頂く。</p>



2. まちづくりの経緯（都市再生整備計画の概要）

【計画期間】

平成 28 年度～令和 2 年度

【まちづくりの経緯及び現況】

本地区は、北前船の寄港地であった三国湊の繁栄に伴い形成された古くからの市街地であり、歴史的な町家や寺社仏閣が数多く残され、三国祭の舞台として、また、三国地区の鉄道の玄関口として中心的な地区である。

これらの地区特性を活かし、平成 17 年度～平成 26 年度にかけて「街なみ環境整備事業」を実施し、道路・小公園・集会場等の整備、景観づくり協定に基づく建物の修景整備など、個性的な町並みの形成を推進してきた。また、平成 20 年 9 月に策定された坂井市景観計画において、本地区は「湊町地区特定景観計画区域」に指定され、湊町らしい風情ある景観づくりを進めるための景観形成基準が定められている。

さらに、平成 16 年に設立した「三国湊魅力づくりプロジェクト実行委員会（現在は NPO 法人）」が中心となり、ジェラート店や観光拠点となる「三国湊座」の開業、三国湊の魅力を発信する様々なプロジェクトに取り組んでいる。

これまでも歴史・文化資源を活かしたまちづくりが進められてきたが、平成 30 年開催の福井国体や平成 34 年度開業予定の北陸新幹線敦賀開業を控えるなか、湊町としての魅力や拠点性を更に高めてまちなか観光を促進すること、また、生活者が誇りを持って住み続けることができる市街地環境を整えることが求められている。

【まちづくりの課題】

- 課題 1：えちぜん鉄道三国駅における滞留・交流空間機能や情報発信機能を備えた拠点形成
- 課題 2：湊町としての市街地回遊性を高めた、まちなか観光の促進
- 課題 3：三国コミュニティセンターの耐震性確保と機能強化
- 課題 4：これまで進めてきた歴史・文化資源の保全や活用、歴史的町並みの更なる促進、誇りを持って暮らせる市街地形成

【まちづくりの目標】

大目標

「三国湊の歴史、伝統、文化が感じられる訪れたい、住み続けたいまち」

- 目標 1 えちぜん鉄道三国駅前の拠点化
- 目標 2 三国駅と歴史・文化資源が集積する市街地の一体化によるまちなか観光の促進
- 目標 3 利便性が高く、誇りを持って暮らすことが出来る居住環境の創出

【目標を定量化する指標】

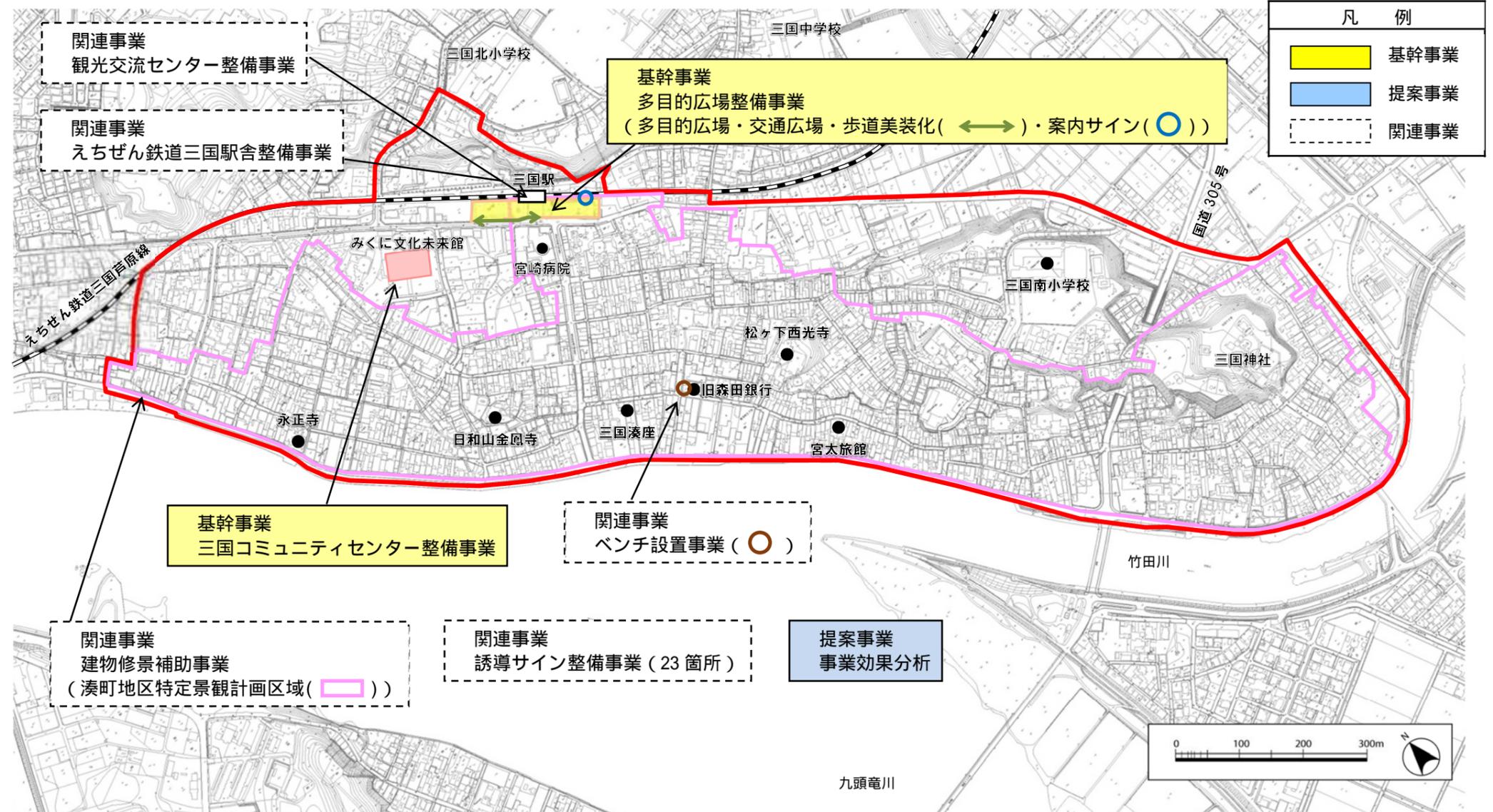
指標 1：公共交通利用者数

指標 2：三国湊町散策者数

指標 3：三国コミュニティセンター利用者数

【計画区域の整備方針】

- 方針 1：えちぜん鉄道三国駅前の拠点化
- 方針 2：三国駅と歴史・文化資源が集積する市街地の一体化によるまちなか観光の促進
- 方針 3：利便性が高く、誇りをもって暮らすことが出来る居住環境の創出



事業内容

【基幹事業】

- ・三国コミュニティセンター整備事業



【基幹事業】

- ・多目的広場整備事業



多目的広場



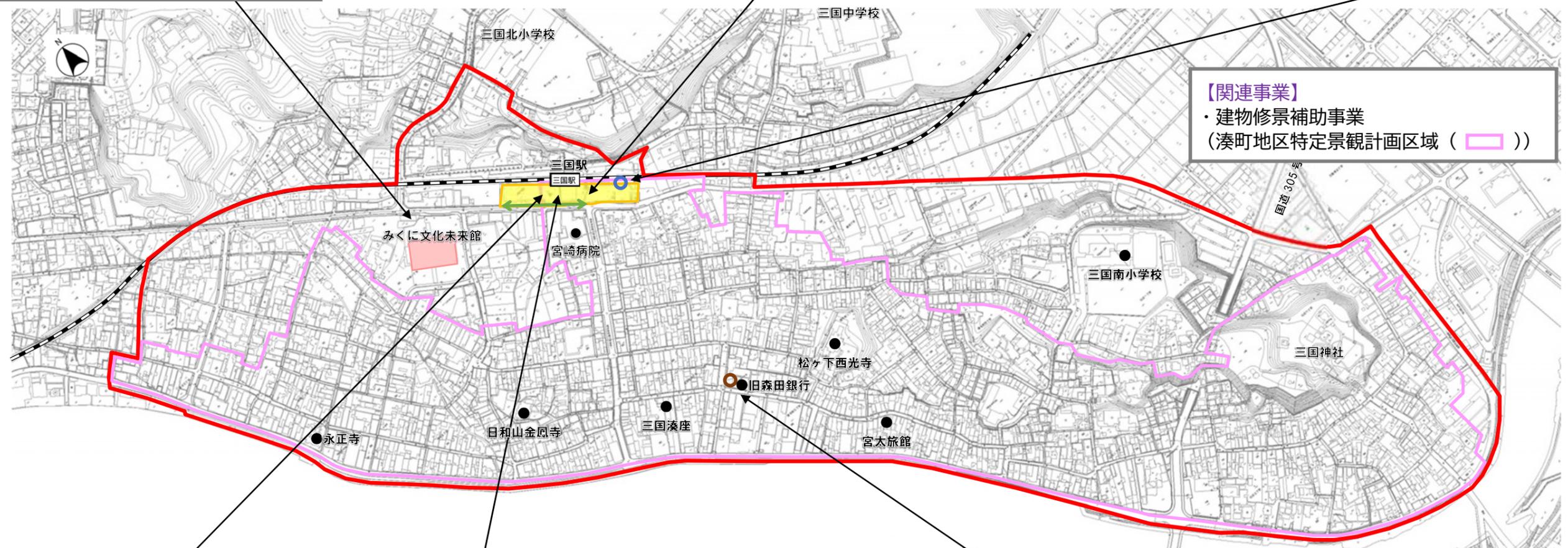
交通広場



歩道美化化



案内サイン



【関連事業】
・建物修景補助事業
(湊町地区特定景観計画区域 (〇))

【関連事業】

- ・えちぜん鉄道三国駅舎整備事業



外観

【関連事業】

- ・観光交流センター整備事業



案内窓口

情報コーナー

【関連事業】

- ・ベンチ設置事業 (〇)



ベンチの設置 (旧森田銀行横)

【関連事業】

- ・誘導サイン整備事業 (23箇所)



誘導サイン(駅前)

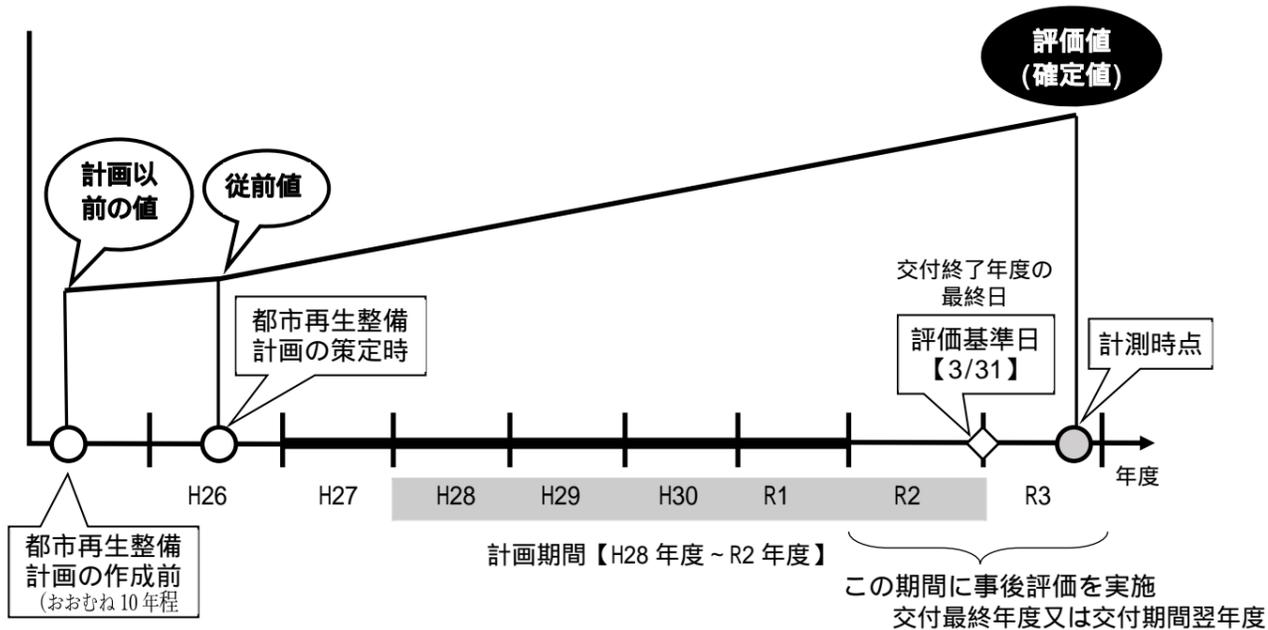
3. 成果の評価（数値目標の達成状況の整理）

目標達成度の評価の基準

指標	単位	従前値 (基準年度)	目標値 (基準年度)	確定値 (評価値)	目標 達成度
1. 公共交通利用者数	人/年	322,723 (H26年度)	311,034 (R2年度)	299,320 (R2.3.31)	
2. 三国湊町散策者数	人/年	63,856 (H26年度)	76,788 (R2年度)	48,297 (R2.12.31)	×
3. 三国コミュニティ センター利用者数	人/年	29,525 (H26年度)	40,018 (R2年度)	14,924 (R3.3.31)	×

目標達成度の評価の基準	達成度
確定値（評価値）が目標値を上回った場合	
確定値（評価値）が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合	
確定値（評価値）が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善が見られない場合	×

評価基準日の考え方

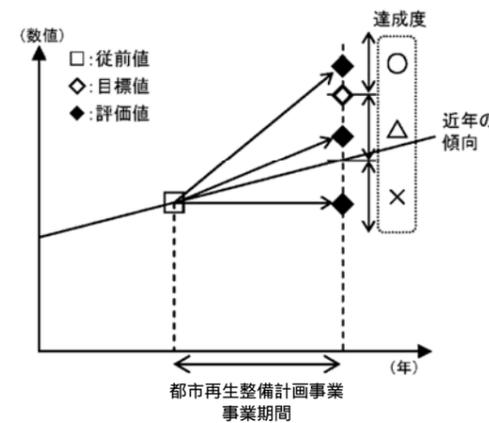


【参考：目標達成度の考え方】

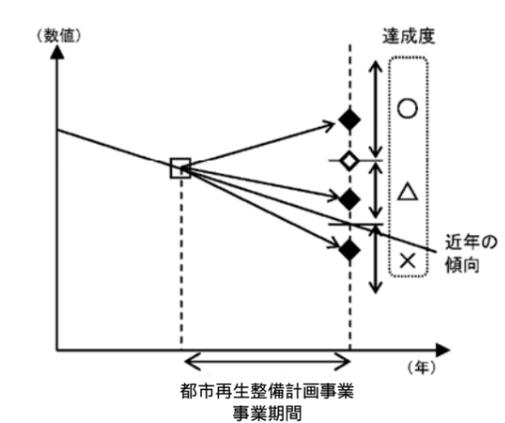
- ・数値目標が事後評価の時点で達成されたか否かは、「達成度」をもって検証する。
- ・「達成度」は、 \square 、 \diamond 、 \times の記号により評価を行うが、その概念は下図に示す通り、目標値（ \diamond ）と評価値（ \square ）との間の差の大きさ（絶対値）と位置関係（目標値よりも上か下か）により市町村が判断するものとします。

評価の基準	達成度
評価値が目標値を上回った場合	
評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合	
評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善が見られない場合	×

■近年の傾向が増加基調の指標の場合の例



■近年の傾向が減少基調の指標の場合の例



- ・なお、 \square 、 \diamond 、 \times を判定する目安として、次の式による「達成指数」を参考にしてもよいです。

$$\text{達成指数} = \frac{\text{評価値}}{\text{目標値}}$$

評価値：事後評価に用いる値、目標値：事後評価時に目標として設定した値

達成指数が1の場合に目標が達成され、1より離れるに従い、目標を達成している（判定 = \square ）又は目標を達成していない（判定 = \diamond 又は \times ）という意味になります。

指標の性格や目標の設定の仕方により達成指数の解釈が異なるので、達成指数によって目標の達成・未達成を判別する場合には注意が必要です。例えば、近年増加基調である事故発生件数の減少を指標として設定している場合は、値が1よりも小さいほど目標を大きく達成していると解釈できます。

目標値が0の場合等においては、適宜、式を定義してよいです。

- ・この「達成指数」は、あくまでも市町村が「達成度」（ \square 、 \diamond 、 \times ）を判定するための参考となる考え方であり、必ずしも指標の数値を添付様式に記入したり、公表する必要はありません。「達成指数」を用いて判定を行うかどうかについても市町村の任意です。
- ・都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況、数値目標以外の効果発現状況の結果は、今後のまちづくり方策の作成の中で改善策を追加作成すべきか否かの判断材料となります。

（出典：都市再生整備計画事業評価の手引き 平成29年3月策定 P7-11（国土交通省））

指標 1：公共交通利用者数

従前値 (H26 年度)	目標値 (R2 年度)	確定値 (R2.3.31)	目標達成度
322,723 人	311,034 人	299,320 人	

【指標の定義】

えちぜん鉄道、京福路線バス、三国運動公園線、コミュニティバスの「三国駅・三国駅前バス停」の年間利用者数

【目標の達成度に関する検証】

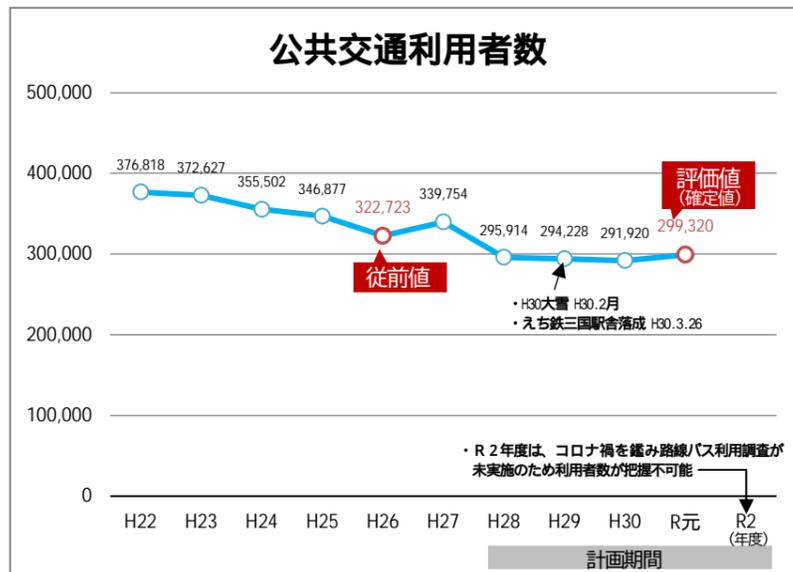
安全性・アクセス性・利便性の向上に向け、えちぜん鉄道三国駅舎と三国観光案内所等を複合した施設整備、三国湊町の魅力を支える基盤整備を行いました。目標を達成することはできませんでした。

ここ数年は豪雪や大型台風等の自然災害の激甚化や多頻度化により、運休日数や運休便数が増え、公共交通利用者数に直接影響を及ぼしています。また、令和2年1月以降は新型コロナウイルス感染症を起因とした公共交通の利用控えや、マイカーへの利用転換も利用者数に影響しています。

なお、評価基準日となる令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、バス利用者の実態調査を実施することができず、年間利用者数を把握することができないため、令和元年度の利用者数を評価値として確定します。

【目標の達成度「△」の理由】

評価値が目標値に達しておらず、さらに従前値よりも利用者数が減少していますが、平成30年度からの過去3年間の傾向と評価値を比べると利用者数が増加していることから、目標達成度を「△」としました。



指標 2：三国湊町散策者数

従前値 (H26 年度)	目標値 (R2 年度)	確定値 (R2.12.31)	目標達成度
63,856 人	76,788 人	48,297 人	×

【指標の定義】

三国湊町境界の1年間（1月～12月）の散策者数

【目標の達成度に関する検証】

三国湊町の魅力を高めるためのサイン整備、建物修景補助、歩道的美装化、ベンチ設置等を行い、またこれまでに取組まれてきた基盤整備やまちづくり事業の相乗効果として、散策者の増加を期待しましたが、目標値を上回ることができませんでした。

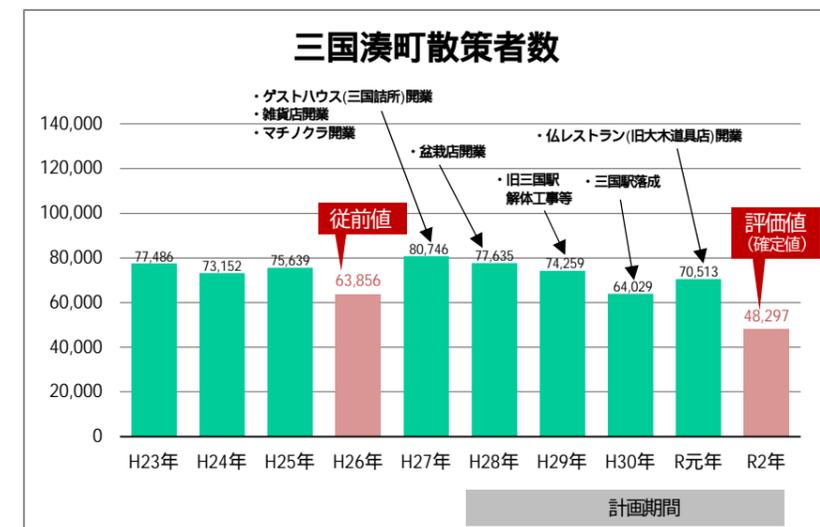
令和2年1月からの新型コロナウイルス感染の拡大を受け、緊急事態宣言による移動規制や施設の休館、人数制限等が行われ、まちなかを散策する人が減ったことが要因と考えられます。

なお、コロナ禍以前の取組みとして、町家や古民家を改修したゲストハウス・飲食や物販等の店舗の開業、えちぜん鉄道三国駅の新駅舎落成等、まちなか散策の目的となる取組みが活発に行われました。

【目標の達成度「×」の理由】

評価値が目標値に達しておらず、近年の傾向より減少していることから、目標達成度を「×」としました。

<参考> 令和2年以降、三国湊町散策者数の計測方法が変わりました。スマートフォンの位置情報から三国湊町境界の散策者数をカウントしています。この方法で計測すると、令和2年は約40万人、令和3年は約35万人が訪れていました。なお、事後評価は従前値と同じ方法で散策者数を計測し評価しています。



指標3：三国コミュニティセンター利用者数

従前値 (H26年度)	目標値 (R2年度)	確定値 (R3.3.31)	目標達成度
29,525人	40,018人	14,924人	×

【指標の定義】

三国コミュニティセンターの年間利用者数（主催事業、サークル活動、その他貸館利用）

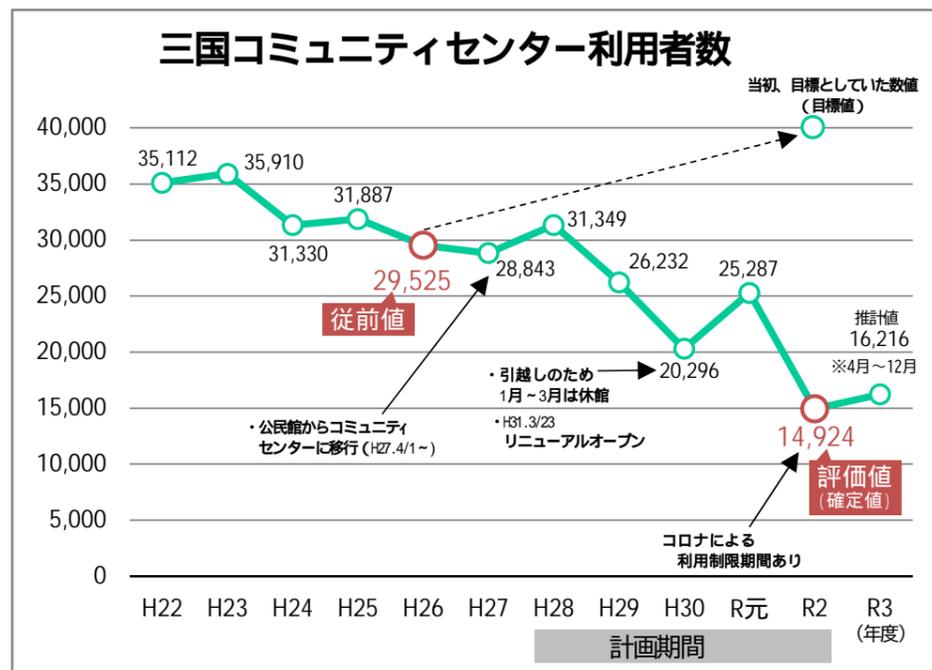
【目標の達成度に関する検証】

耐震性が不足していた旧コミュニティセンターから、新たなコミュニティセンターに改修移転し、平成31年3月23日にリニューアルオープンしました。自主講座やコミセン講座等を積極的に取組みましたが、目標を達成することはできませんでした。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響を受け、コミュニティセンターの一時休館や利用人数制限等が目標を達成できなかった直接的な要因となりますが、地域住民の人口減少等も影響していると考えられます。

【目標の達成度「×」の理由】

評価値が目標値に達しておらず、さらに従前値よりも利用者数が減少し、令和元年度以前の各年度の利用者数が従前値よりも減少していることから、目標達成度を「×」としました。



実施過程の評価

三国コミュニティセンターの移転改修に向けた協議会の開催

耐震性が不足しているコミュニティセンターを移転改修するにあたり、施設の配置や機能等について意見交換が行われました。

【開催】

- ・平成29年6月～8月 合計4回開催

【検討メンバー】

- ・三国コミセン改修工事検討委員会(小委員会)
(区長会代表、まちづくり協議会代表、文化協会代表、コミュニティセンター長)
- ・設計業者
- ・まちづくり推進課、営繕課

【主な意見】

- ・現コミセンに机やイスがかなりの量があり、それを収納できるスペースを確保したい。
- ・コーヒーやお茶を提供する喫茶コーナーがあるとよい。
- ・グランドピアノの収納を考えてほしい。
- ・コミセンの新たな利用者を受け入れできるように、機材置場と各種調整室を有効利用したい。

【検討内容】

- ・事務所・トイレ・調理室等の配置位置や出入口位置
- ・既存スペースの有効活用策
- ・設備や備品の必要量
- ・各種要望事項

定量的に表現できない定性的な効果発現状況

●エッセル坂のタイル清掃

- ・福井県ビルメンテナンス協会の皆さんによる清掃奉仕活動が行われ、あじさいタイルがきれいになりました。



●サイン設置や歩行空間の整備を行いました

- ・サイン整備にあたっては、(一社)アーバンデザインセンター坂井が現地調査、デザイン検討、配置計画等を取りまとめました。



- ・歩道はインーロッキングブロック舗装とし、安全性を高めるために車止めを設置しました。
- ・広場側は安全策やプランターを配置し安全性を高めました。



●待合い・休憩場所の整備

- ・市民、観光客が座って休憩できる場所を整備しました。観光客が多く訪れる旧岸名家や旧森田銀行界隈には広場にベンチを設置しました。



●三国駅舎の完成

- ・えちぜん鉄道三国駅舎が平成 30年 3/26 に落成しました。



●広場空間の機能の充実

- ・三国湊町の雰囲気や駅舎のデザインや色に配慮しながら、舗装材のデザインや色を検討し、令和3年度に供用を開始しました。



●交通機能の拡充

- ・バス・タクシーのロータリー広場の整備に伴い、旧三国コミュニティセンター跡地に市営駐車場を整備しました。バス・タクシー乗降場と分離されたため、安全な駐車や送迎の空間になりました。



●散策が楽しくなる取組みの充実

- ・ロータリー内の舗装が茶系から明るいグレー系に変更され、全体が明るいイメージになりました。
- ・バスの待ち時間も楽しめるように観光案内板を移設するとともに、電車を眺められるようにしました。
- ・三国駅舎内にレンタサイクルの設置、ポスター掲示、三国駅観光案内所では案内窓口のほか、観光・イベント情報誌の設置、スタンプラリーのイベント開催が行われ、観光機能が充実しました。



4. 効果発現要因の整理

指標名		指標1 公共交通利用者数		指標2 三国湊町散策者数		指標3 三国コミュニティセンター利用者数	
目標達成度				×		×	
種別	事業名・箇所名	目標未達成の影響度	総合所見	目標未達成の影響度	総合所見	目標未達成の影響度	総合所見
基幹事業	多目的広場整備事業		安全性・アクセス性・利便性の向上に向け、えちぜん鉄道三国駅舎と三国観光案内所等を複合した施設整備、バス・タクシーのロータリー整備、多目的広場の整備等、三国湊町の魅力を支える基盤整備を行いました。目標を達成することはできませんでした。 ここ数年は豪雪や大型台風等の自然災害の激甚化や多頻度化により、運休日数や運休便数が増え、公共交通利用者数に直接影響を及ぼしています。また、令和元年度1月以降は新型コロナウイルス感染症を起因とした公共交通の利用控えや、マイカーへの利用転換も影響しています。		三国湊町の魅力を高めるためのサイン整備、建物修景補助、歩道の美装化、ベンチ設置等を行い、これまでに取組まれてきた基盤整備やまちづくり事業の相乗効果として、散策者の増加を期待しましたが、目標値を上回ることができませんでした。 新型コロナウイルス感染の拡大を受け、混雑を避けてまちなかを散策する人が増えたことが大きく増加した要因と考えられます。 なお、コロナ禍以前の取組みとして、町家や古民家を改修したゲストハウス・飲食や物販等の店舗の開業、えちぜん鉄道三国駅の新駅舎落成等、まちなか散策の目的となる取組みが活発に行われました。	×	耐震性が不足していた旧コミュニティセンターから、新たなコミュニティセンターに改修移転し、平成31年3月23日にリニューアルオープンしました。自主講座やコミセン講座等を積極的に取組みましたが、目標を達成することはできませんでした。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響を受け、コミュニティセンターの一時休館や利用人数制限等が目標を達成できなかった直接的な要因となりますが、地域住民の人口減少等も影響していると考えられます。
	案内サイン整備事業						
	歩道美装化事業						
	三国コミュニティセンター整備事業						
提案事業	事業効果分析						
関連事業	えちぜん鉄道三国駅舎整備事業						
	観光交流センター整備事業						
	誘導サイン整備事業						
	ベンチ設置事業						
	建物修景補助事業						

【目標達成度が と×の場合の影響度の考え方】

- × ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- ：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用・改善の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者、行政機関等による利用促進とあわせて、関係団体等と連携した事業やイベント・催事の開催、PR等により、利用者数の増加を図っていきます。 ・また、今後の北陸新幹線敦賀開業に向け、観光事業と連携した公共交通の利用促進を図っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の修景、町家・古民家などの利活用により三国湊町としての町並みの連続性を確保し、回遊性を高めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の取組みを継続するとともに、中高生や若年世代が気軽に訪れ、たまり場的な空間を目指す必要があります。若年世代等も参加しやすい講座の内容、講座の開催回数、開催時間帯の検討を行い、利用者数の増加を図っていきます。 ・また、三国湊町の立地特性を活かし、県内外の人が集まり利用できるような講座等の検討を行っていきます。
-------------	---	--	--

5. 今後のまちづくり方策の検討

都市再生整備計画の課題	達成状況		継続・改善の基本の考え方	想定される事業
えちぜん鉄道三国駅における滞留・交流空間機能や情報発信機能を備えた拠点形成と都市景観の創出	達成されたこと	<ul style="list-style-type: none"> えちぜん鉄道三国駅舎、観光案内所、飲食店などの店舗が複合した施設整備 住民や観光客が交流・滞留する多目的広場の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関を利用した観光客の誘客を継続して行い、併せて広場を活用したイベントや催事を定期的に行うことで、その土地や場所への愛着を高める。 日常的な清掃、定期的な大規模清掃により、美しい空間と清潔な施設を維持していく。 日よけやベンチの設置や、緑化推進等により、滞留・交流空間機能の拡充を図る。 多様な人が安心して利用できるような広場空間への拡充を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 坂井市地域公共交通網形成計画の計画的な進捗管理 イベントや催事における広場の多目的利用 一般社団法人三國會所等との連携 清掃ボランティア等との連携 指定管理者制度の活用 観光、交通、宿泊等の関係者が含まれるDMOさかい観光局との連携 バリアフリー対策工事
	新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年春の北陸新幹線敦賀開業に向け、福井駅や芦原温泉駅から三国駅周辺に来る訪問者を増やし、公共交通の利用者の増加と観光客の増加を図るための検討 便利で快適に使える滞留・交流空間とするために、日よけやベンチの設置、うるおいのある空間に向けた緑化等の検討 バリアフリーに対応した駐車マスの確保と点字ブロック設置の検討 		
湊町としての歴史・文化資産を活かし、回遊性を高めたまちなか観光の促進	達成されたこと	<ul style="list-style-type: none"> 三国駅前の歩道の美装化 案内サインの設置（移設）や誘導サインの設置による回遊性の向上 観光客が集まる場所へのベンチ設置 エッセル坂の通路やタイルの洗浄 	<ul style="list-style-type: none"> 建物の修景、町家・古民家などの利活用により三国湊町としての町並みの連続性を確保し、回遊性の向上を図る。 遊休地等を活用したポケットパークやベンチの設置により、さらなる滞留や回遊性の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> みくに龍翔館リニューアル改修事業（令和5年度オープン予定） 坂井市三国湊町街なみ環境整備事業 建物修景補助制度 坂井市「空き家情報バンク」制度 観光、交通、宿泊等の関係者が含まれるDMOさかい観光局との連携（再掲） 指定管理者制度の活用（再掲）
	残された未解決の課題	<ul style="list-style-type: none"> 三国駅前広場に設置予定の観光案内板工事の完成 三国湊きたまえ通り周辺の滞留促進や快適な回遊に寄与するためのポケットパークやベンチ設置の検討 		
三国コミュニティセンターの耐震性確保と機能の強化	達成されたこと	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性が不足している旧三国コミュニティセンターの解体跡地を活用した市営駐車場の整備 みくに文化未来館ホール機能の移転により、既存施設を耐震化改修し、新三国コミュニティセンターとして整備 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンターを中心に、地域住民が交流し、地域に誇りや愛着をもって住み続けられるような地域づくり・まちづくり活動の継続的な支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくり支援ソフト事業 協働のまちづくり事業 まちづくり懇話会 コミュニティバス運行事業 指定管理者制度の活用（再掲） 貸館利用手続きの多様化
	残された未解決の課題	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 		
これまで進めてきた歴史・文化資源の保全や活用、歴史的町並みの更なる促進、誇りを持って暮らせる市街地形成	達成されたこと	<ul style="list-style-type: none"> 三国湊町のおもむきと調和した建物修景補助の実施 町家・古民家、空き家を利活用した店舗等出店への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 三国湊町の歴史的な町並みの維持や、生活や商売をする人が住み続けられるように、さらなるまちの魅力向上を図る。 まちづくりに継続的に関わる人や団体との交流を維持していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 坂井市三国湊町街なみ環境整備事業（再掲） 住宅の建設・改修等補助事業 坂井市「空き家情報バンク」制度（再掲） 一般社団法人三國會所等との連携（再掲） まちづくり懇話会（再掲）
	残された未解決の課題	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 		